

2-5 パートナーを含めたマネジメント

グリーンガイドライン

電気通信サービスを提供するにあたり、数多くの電気通信設備及びそれらを収容するための多くの建物を保有しています。さらには、電気通信設備の構築には数多くの資材を社外から調達し、建物の建設・保有・運用・廃棄、そして研究開発等の事業活動に伴って地球環境に負荷をかけることが考えられます。そこで、これらの環境負荷を低減するために「グリーンガイドライン」を定めています。グリーンガイドラインには、電気通信設備に関する「グリーン調達ガイドライン」、建物の計画・設計・運用管理・廃棄に関する「建物グリーン設計ガイドライン」、研究開発に関する「グリーンR&Dガイドライン」を制定し、サービス提供に伴い発生する環境負荷の低減を推進しています。

通信資材関係のリサイクル

製品の寿命を終え、撤去された通信資材については、サプライヤー、回収・運搬会社、リサイクル会社と相互に連携を図り、できる限り資源をリサイクルできるように取り組んでいます。例えば、通信ケーブル(メタル、光)の外被や、接続端子函、支線ガード等については、それらに利用されているプラスチック類を同じ製品へリサイクルできるクローズドループリサイクルシステムを構築しています。また、2013年度においては、光曲げフリーコードを再利用したり、撤去した各種ルーターのうち、まだ利用できるものについては中古品として売却する等、循環型社会への貢献を図っています。

省エネ性能ガイドラインの取り組み

NTT西日本グループが排出する温室効果ガス(CO₂)排出量の90%以上は通信設備やオフィスの電力使用によるものです。これを効果的に削減するため、導入する装置に対して、省エネルギー(以下、省エネ)性能・機能の高い装置を開発・調達することが不可欠です。

そこで、社内で使用するルーター・サーバー等のICT装置の開発・調達にあたっての基本的な考え方や装置別の目標値を「NTTグループ省エネ性能ガイドライン」として定め、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

サプライヤー提案型の取り組み

電気通信設備の提供者(サプライヤー)から各種製品を調達していますが、サプライヤーからも、環境に配慮した材料や製法等に関する様々な改善・効率化提案をいただいております、相互に協力しあいながら、環境に配慮した製品の調達を行っています。